

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)	第12回相模原市社会福祉審議会		
事務局 (担当課)	地域包括ケア推進部地域包括ケア推進課 電話042-769-9222 (直通)		
開催日時	令和7年5月19日(月)～5月23日(金)		
開催場所	(書面開催)		
出席者	委員	31人(別紙のとおり)	
	その他		
	事務局		
公開の可否	<input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	
公開不可・一部不可の場合は、その理由	書面会議のため		
会議次第	1 開会 2 報告 (1) 社会福祉審議会について (2) 令和5年度・令和6年度の各専門分科会の開催状況について (3) 令和7年度予算(健康福祉局、こども・若者未来局)について 3 議題 (1) 委員長の選出について (2) 相模原市の福祉及び保健・医療に関する計画(施策)について 4 閉会		

# 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

## 1 開会

## 2 報告

- (1) 社会福祉審議会について
- (2) 令和5年度・令和6年度の各専門分科会の開催状況について
- (3) 令和7年度予算（健康福祉局、こども・若者未来局）について

## 3 議題

### (1) 委員長の選出について

社会福祉法10条の規定に基づき、委員の互選の結果、村井 祐一委員が選出され承認された。

### (2) 相模原市の福祉及び保健・医療に関する計画（施策）について

次のとおり、意見があった。

## 質疑・意見等

### 【計画全般】

- だれもが健康で安心できる環境作りをしていく必要がある。
- 福祉及び保健・健康に関する各計画（施策）が出来る限り早く実現できるように推進して行ってほしい。
- 全ての計画の成果（結果）に対して、現場・当事者の声を可能な限り反映し形骸化しないことが必要である。
- 各施策は全て重要。他の施策に優先するものと考えられるので、市の施策全体からも優先度の高いものとして、予算組み、人員配置を行ってほしい。
- 介護・医療・福祉・保育現場におけるカスハラ対策が必要である。

### 【地域福祉関連】

- 「第5期地域福祉計画」、「第9期高齢者保健福祉計画」、「第2期共にささえあい生きる社会さがみはら障害者プラン」共通に、重点的な取組として「包括的な支援体制の整備」が掲げられており、「相談支援」、「地域づくりへの支援」、「参加支援」を一体的に実施し、誰もが地域で安心してくらししていくことができる体制づくりに向けては、行政だけでなく、地域住民、福祉団体、福祉関係者のネットワークを構築することが重要である。

このネットワークの構築する圏域については、大圏域（全市）、中圏域（各区）、小圏域（22地区）でのそれぞれの役割を考え、各圏域で、どのようなネットワークを構築していくのか検討し、進めていくことが必要であると考えます。

- 「地域共生社会」の実現に向けては、「支え手」「受け手」という関係を超えて、

地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画することが大切です。

市社協の第10次さがみはら地域福祉活動計画（令和6年度～令和11年度）では、めざす地域像として「一人ひとりが活躍できる多用な縁づくり」をテーマに掲げています。住民が人との関わりの中で気がついた温かいエピソード「“いいひと”や“いいこと”」などの縁づくり集め、それを広く伝えることで他社への気づきや自身の行動を再認識するきっかけづくりを進めていきます。

○孤独・孤立対策推進法で孤独・孤立対策として、「相互に支え合い人と人とのつながりが生まれる社会」を目指して「ゆるやかな人とのつながり」「居場所づくり」が、予防のために重要であると示されており、相模原市としてどのように推進していくのか見えるかたちにしていくことが必要であると考えます。

○関係機関の横の連携、コミュニティソーシャルワーカーへの支援が必要である。

### 【高齢者福祉関連】

○地域包括支援センターが、地域包括ケアシステムの中核的な機関としてどのような機能強化を求め、どのように取り組んでいくのかまだ見えてこない事が多くあると思います。障害や児童等も含めた地域の相談支援体制をどのように構築していくのか更なる検討や推進が必要だと思えます。

○在宅医療・介護の更なる連携が必要である。

○チームオレンジの更なる取組の推進が必要である。

○シニアサポート活動ではない高齢者等移動支援（行政主体）事業の推進が重要である。

○介護・障害対応の人材確保、市独自の予算の上乗せが必要である。

### 【障害者福祉関連】

○障害者等の外出支援への対応が必要であり、同行援護環境の整備が必要。

具体的には、同行援護ヘルパーの大幅減少により利用ができない事態が発生しており以下のような対策が必須である。

①同行援護ヘルパーの主体的募集案内を行うこと。

②高額な同行援護ヘルパーの資格取得への金銭的支援を行うこと。

○障害者等の外出支援への対応が必要であり、歩行訓練環境の整備が必要。

具体的には、健康維持や突発的な外出時に事故を防止し安全な単独歩行のため以下の対策が必要である。

①いつでも歩行訓練が受けられる環境整備を整えること。

②多くの県や政令指定都市には歩行訓練士が配置されており、県内政令指定都市で歩行訓練士の配置がされていないのは当市のみであり、歩行訓練士の配置を検討すること。

○障害者手帳等が必要な同行援護が利用できない眼球使用困難症等の者への地域生活支援事業による移動支援を可能とする取組が必要である。

○障害者施策における障害者との直接交流する機会の体験をすべての年代で実施し共にささえあえる環境づくりを行うとよいのではないか。

4 閉会

以 上

社会福祉審議会 委員名簿

(令和7年5月19日)

番号	氏名	役職又は推薦団体	出欠席
1	佐藤 尚史	相模原市議会議員	出席
2	大貫 君夫	相模原市民生委員児童委員協議会	出席
3	内山 妙子	相模原市民生委員児童委員協議会	出席
4	小野 明子	相模原市障害者地域作業所等連絡協議会	出席
5	笹野 章央	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会	出席
6	大神田 賢	相模原市老人クラブ連合会	出席
7	神尾 美香子	相模原市私立保育園・認定こども園 園長会	出席
8	島森 政子	特定非営利活動法人相模原市障害児者福祉団体連絡協議会	欠席
9	永保 貴章	一般社団法人相模原市幼稚園・認定こども園協会	出席
10	中谷 正代	相模原市障害福祉事業所協会	出席
11	大久保 祐次	一般社団法人相模原市高齢者福祉施設協議会	欠席
12	田川 継世	一般社団法人相模原市ひとり親家庭福祉協議会	出席
13	吉原 君子	相模原市肢体障害者協会	出席
14	宇都木 泰代	相模原市視覚障害者協会	出席
15	木村 健	相模原市聴覚障害者協会	欠席
16	鈴木 泰明	社会福祉法人相模原市社会福祉事業団	出席
17	白石 卓之	相模原市教育委員会	出席
18	武部 正明	学校法人模女子大学	出席
19	篠塚 実希子	相模原市自治会連合会	出席
20	佐藤 康富	東京家政大学	出席
21	竹下 昌之	学校法人相模女子大学	出席
22	鈴木 英朗	公益社団法人相模原市歯科医師会	出席
23	田中 雄一郎	公益社団法人相模原市歯科医師会	出席
24	村井 祐一	田園調布学園大学	出席
25	中安 恆太	学校法人和泉短期大学	出席
26	鎌田 裕子	相模原市立小学校長会	出席
27	荒谷 進	特定非営利活動法人相模原ボランティア協会	出席
28	甲斐田 沙織	神奈川県弁護士会	出席
29	安永 佳代	神奈川県弁護士会	出席
30	宮崎 文枝	相模原人権擁護委員協議会	出席
31	梅澤 慎一	一般社団法人相模原市医師会	出席
32	品川 洋一	一般社団法人相模原市医師会	出席
33	田島 敏樹	一般社団法人相模原市医師会	欠席
34	片山 葉子	神奈川県立相模原中央支援学校	出席
35	佐々木 学	相模原公共職業安定所	出席

